

令和元年度（2019年度）産山学園便り

# 夢創造

冬休み明け集会后、新旧生徒会役員の引継ぎが行われました。9年生の旧役員さん、ありがとうございました。



令和2年1月9日（木）no.30 文責：上田

## 今年もよろしくお願ひします

新年明けましておめでとうございます。令和2年が皆様にとってよりよい年でありますようご祈念もうしあげます。15日間の冬休みがあげ、学園に子どもたちの元気な声もどってきました。まずもって、休み中に大きな事故等もなく過ごしてくれたことをうれしく思っています。

さて、31日の熊日新聞に『阿蘇路全面再開へ着々』、熊本地震からのインフラ復旧が進んでいるという記事が掲載されていました。右図の通り、2020年度（令和2年度）にJR豊肥線の大津駅—阿蘇駅間の運行再開、二重峠トンネルの完成などが予定されています。



阿蘇地域の観光や物流にも大きな変化が起こるものと思います。学園の卒業生たちの通学も、また、これから進学を迎える学園生たちにとっても大きな意味がある出来事です。

## 地域行事への参加を

9年生たちが「子ども議会」において様々な提案を行うなど、学園ではコミュニティ・スクールとして「うぶやま学」や「生活科」「社会科」などの学習機会を教育活動の柱として取り組んでいます。授業以外でも、「ヒゴタイ太鼓」や「浦安の舞」の指導を地域の方々にお世話にもなっていますし、今月は11日（土）に村消防団の方々に指導いただき少年消防クラブが村消防出初式に参加します。

毎月配付の村広報誌を見ると、様々な地域行事が行われていることがわかります。地域の行事だからこそ地域の良さが体験できます。人とのかかわりの中でしか体験できないぬくもりもあります。子どもたちが地域行事に関心を持つにも家族の言葉かけが必要です。地域行事への参加を勧めてあげてください。

私事ですが、11月から12月にかけて氏子として地域の神社の行事に参加することがありました。地域の祭りのお世話をさせていただきましたが、小中学生の頃の私のことを知る年長者の方から「こぎゃんこつも知らんとかい」「がんばらなんね」と励まされるのは、何か恥ずかしくもありますが、うれしく思えました。